

南一小だより 9月号



大阪狭山市立
南第一小学校
令和4年(2022年)

学校教育目標：やる気と笑顔いっぱいの一小っ子

8月29日

『深める』2学期、楽しい学校に

校長 酒匂 雅夫

39日間の夏休みが終わりました。世間では「3年ぶりに行動制限がない夏」と言われましたが、夏休み中も多くの感染者数が報告されていました。また、全国での大雨による被害や水の事故など、心配なニュースも多かった夏でした。

そのような中でも、PTAの常置委員、本部役員の皆さんが、教室のカーテンを洗い、取り付けてくださり、カーテンがきれいになりました。また、地域コーディネーターの田中さんや、一小応援団の方が、畑やプランターの整備などをしてくださいました。さらに、8月27日(土)の「環境整備作業」には、多くの保護者の皆さんが参加して、学校をきれいにしてくださいました。約20名の児童も、一緒ががんばってくれました。南第一小学校区地域防犯ステーションの皆さんも、同じ時間帯で、校区の見守りの看板を付け替えてくださいました。ご協力いただいた皆さま、本当にありがとうございます。おかげさまで、気持ちよく2学期を迎えることができました。

いよいよ今日から2学期が始まります。児童にとって1学期は、新しい学年・学級、新しい人、新しい学習に「慣れる期間」でした。長い夏休みを挟んだので、今日から3日間ぐらいは、もう一度「慣れる期間」と言えますが、すぐに勘(カン)が戻ってくると思います。2学期は、1学期に取り組んだことや人とのつながりを、「深める期間」にしてほしいと思います。

例えば、1学期は、クラスや学校全体が楽しく、よりよくなるため、どの学年の人もがんばって取り組んでいました。2学期は、運動会や児童会行事など、学校全体の行事があり、6年の修学旅行や5年の臨海学舎をはじめ、学年の取組みがあります。1学期に取り組んだことをもとに、さらに工夫をして、自分もみんなも楽しめるよう、努力してほしいです。

学習面でも、これまでの内容をもとに、内容が広がり、深まっていきます。そして、新しいことがわかるようになったり、できるようになったりします。そのために、学校でも家庭でも、自分から進んで学習に取り組むとともに、他の人の考えもしっかりと聞いて、自分の考えを深めてほしいです。お互いの考えを伝え合ったり、取組みを一緒に進めたりすることで、相手への理解が深まり、つながりも深まっていきます。また、本校はコミュニティースクールとして、2学期も地域の方々にお世話になります。人とのつながりを深めるための「入口」として、これからも「あいさつ」を大切にしていきますが、さらに、本日の始業式では「あいさつ+ (プラス) ひとこと」も呼びかけました。あいさつをされるとうれしいものですが、「いつもありがとうございます」「暑いから気をつけてください」など、「ひとこと」をプラスされると、さらにうれしいものです。すてきなひとことが、人とのつながりを深めるきっかけになればと思います。

このように、一人ひとりの児童が、取組みや学習、人とのつながりの「深まり」を感じることで、自己肯定感の高まりや「楽しい学校」につながることを願っています。

保護者、地域、関係の皆さま、2学期も、本校へのご支援とご協力を、どうぞよろしくお願いいたします。